

中国の国際貿易動向に関する統計データ分析*

Trend Analysis of International Trade in China by Statistical Data*

荒木 大志**・柴崎 隆一***・神波 泰夫****

By Daishi ARAKI**・Ryuichi SHIBASAKI***・Yasuo KANNAMI

1. はじめに

近年アジア地域の経済成長はめざましく、特に中国はアジアの中でも著しい成長を遂げている。中国の急速な成長は、安価な労働力を求めた外国企業の進出、FTA や EPA といった経済連携、輸送インフラの整備などを背景とした国際貿易の進展が大きく影響していると考えられるが、このような国際貿易の進展は、貿易額の増加のみならず、取扱品目や貿易相手国、輸送モードにも影響を与える可能性がある。

そのため、これらの貿易動向を分析し、現状を把握することは、今後の国際貿易を考える上で必要不可欠であり、政策シミュレーションで必要となる基礎データとしてのニーズも高いと考えられる。

そこで本稿では、中国に着目し、中国統計データを用いた中国地域別の貿易動向の現状及び過去との比較分析を行う。

2. 比較分析に用いる統計データ

本稿では、「China Custom Statistics (CCS)」を用いて分析を行う¹⁾。CCSでは、税関別品目別相手国別輸送モード別輸出入別の貿易額を把握することができ、税関データを基に貿易額を中国31省に集計し、さらに必要に応じて中国8地域に集約する。輸送モードは貿易に用いられる主要な輸送機関を示し、CCSでは海上・トラック・鉄道・航空・郵便・その他の6モードについて把握することができるが、今回は、海上・トラック・鉄道・航空の4モードについて分析する。品目分類については、貿易財5産業（農業・鉱業・生活関連型製造業・資源加工型製造業・加工組立型製造業）、非貿易財1産業（サー

*キーワード：中国地域特性、国際貿易、国際物流

**正員、工修、パシフィックコンサルタンツ株式会社
(東京都多摩市関戸1丁目7番地5号、
TEL042-372-6184、FAX042-372-6398)

***正員、工博、国土交通省 国土技術政策総合研究所
港湾研究部 港湾システム研究室

****非会員、パシフィックコンサルタンツ株式会社

ビス)の計6産業に分類する。なお、比較年次は、最新データ(2008年)と5年前のデータ(2003年)とする。

3. 中国における地域特性の比較分析

(1) 中国地域別貿易額の推移

表-1に中国地域別輸出入別貿易額を示す。表より、2008年貿易額は、2003年と比較すると、輸出合計で195%、輸入合計で147%、輸出入合計で172%増加している。同様に地域別においても、いずれも貿易額は増加しており、特に中部沿岸地域と南部沿岸地域の貿易額の増加額は大きく、これらの地域で中国貿易額の約7割を占めている。

しかしながら、図-1に示す中国省別貿易額及び貿易増加率を見ると、貿易額の大きい中国沿岸部より、内陸地域の方が増加率は大きい。内陸地域はこれまで、国際貿易においては沿海部の地域と比べると不利であるとされてきたが、近年輸送インフラの整備が急速に進んでい

表-1 中国地域別輸出入別貿易額 (百万\$)

地域	2003年			2008年				
	輸出入計	輸出	輸入	輸出入計	輸出	輸入		
東北地方	40,641	20,778	19,863	107,886	54,197	53,689		
北部沿岸	55,346	29,976	25,370	219,205	120,147	99,058		
北京・天津	72,607	37,084	35,523	178,807	74,824	103,983		
中部沿岸	317,719	160,029	157,690	824,472	479,064	345,407		
南部沿岸	341,421	183,981	157,440	781,106	450,427	330,679		
西北地方	9,453	3,151	6,302	52,534	33,275	19,260		
中部地方	8,428	2,570	5,858	107,854	64,691	43,164		
西南地方	9,147	4,098	5,050	52,973	28,374	24,598		
合計	854,763	441,667	413,096	2,324,837	1,304,999	1,019,838		
	2003年比増加率			172%			195%	147%



図-1 中国省別貿易額及び貿易増加率

ること、ならびに中国政府の「西部大開発」政策によるインフラ投資や産業誘致施策が実施されていることから、輸出企業の進出が高まってきているものと考えられる。実際に表-2に示す輸出増加率を見ると、中部地方で約2400%、西北地方で約960%、西南地方で約600%と非常に大きい。

表-2 中国地域別輸出入別貿易額増加率（対2003年）

地域	輸出入計 増加率	輸出 増加率	輸入 増加率
東北地方	165%	161%	170%
北部沿岸	296%	301%	290%
北京・天津	146%	102%	193%
中部沿岸	159%	199%	119%
南部沿岸	129%	145%	110%
西北地方	456%	956%	206%
中部地方	1180%	2417%	637%
西南地方	479%	592%	387%
合計	172%	195%	147%

(2) 中国輸送機関別貿易額の推移

表-3に中国地域別輸送機関別貿易額を示し、図-2に中国地域別輸送機関分担率及び貿易額増加率を示す。図より2003年と比較すると、いずれの地域においても海上輸送分担率が増加している。これは中国港湾のコンテナターミナル整備への投資が積極的に行われていることが要因であると考えられる²⁾。また西北地方、西南地方

表-3 中国地域別輸送機関別貿易額（輸出入計）

地域	年次	輸送モード(輸出入計)				合計
		海上輸送	トラック輸送	鉄道輸送	航空輸送	
東北地方	2003	33,366	1,697	1,130	3,908	40,103
	2008	90,433	5,215	4,129	6,509	106,286
北部沿岸	2003	51,764	11	125	3,357	55,257
	2008	199,855	1,436	2,455	11,744	215,490
北京・天津	2003	43,770	38	349	28,116	72,273
	2008	107,729	1,387	2,172	64,030	175,318
中部沿岸	2003	222,407	1,459	515	93,063	317,444
	2008	617,437	11,054	2,196	177,204	807,891
南部沿岸	2003	163,323	165,622	1,101	9,531	339,577
	2008	401,882	285,978	1,796	20,463	710,119
西北地方	2003	1,128	1,933	5,411	979	9,451
	2008	23,134	15,517	14,273	3,365	56,289
中部地方	2003	6,538	58	484	1,337	8,417
	2008	94,525	3,475	2,302	7,177	107,479
西南地方	2003	5,185	1,495	682	1,770	9,132
	2008	43,649	3,582	1,492	3,883	52,606

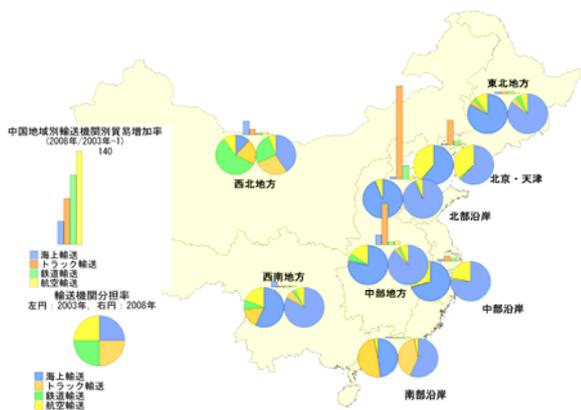


図-2 中国地域別輸送機関分担率及び貿易額増加率（輸出入計）

については、輸送機関分担率が大きく変化しており、輸出企業等の進出により、貿易が活性化してきたことや貿易相手国の変化に要因があると考えられる。

輸送機関別貿易額の増加率をみると、北部沿岸、北京・天津、中部地方におけるトラック輸送の増加率が非常に大きい。これは中国の高規格道路は「五縦七横」を基本とした整備が急速に進んでおり²⁾、陸上輸送が利用しやすくなったことに要因があると考えられる。また、全輸送モードに対する海上輸送の構成比が非常に高く、トラック輸送ほどの急激な増加がないため目立たないが、鉄道輸送や航空輸送についても、それぞれの地域で着実な増加を示している。

表-4及び図-3に2008年の中国地域別輸送機関別貿易額を示す。南部沿岸では輸出入ともにトラック輸送の構成比が高い。また、首都国際空港を有する北京・天津、

表-4 中国地域別輸送機関別輸出入別貿易額（2008年）

地域	輸出				輸入			
	海上輸送	トラック輸送	鉄道輸送	航空輸送	海上輸送	トラック輸送	鉄道輸送	航空輸送
東北地方	44,767	4,731	1,152	2,571	45,666	484	2,977	3,938
北部沿岸	109,761	1,283	1,779	5,157	90,094	153	676	6,587
北京・天津	42,569	1,156	1,397	29,117	65,160	231	775	34,913
中部沿岸	387,597	9,178	1,817	79,356	229,840	1,876	379	97,848
南部沿岸	264,178	169,205	1,008	9,909	137,704	116,773	788	10,554
西北地方	13,585	14,953	8,896	1,490	9,539	564	5,377	1,875
中部地方	57,439	3,137	1,115	3,011	37,086	338	1,187	4,166
西南地方	22,845	2,653	1,168	1,528	20,804	929	324	2,355

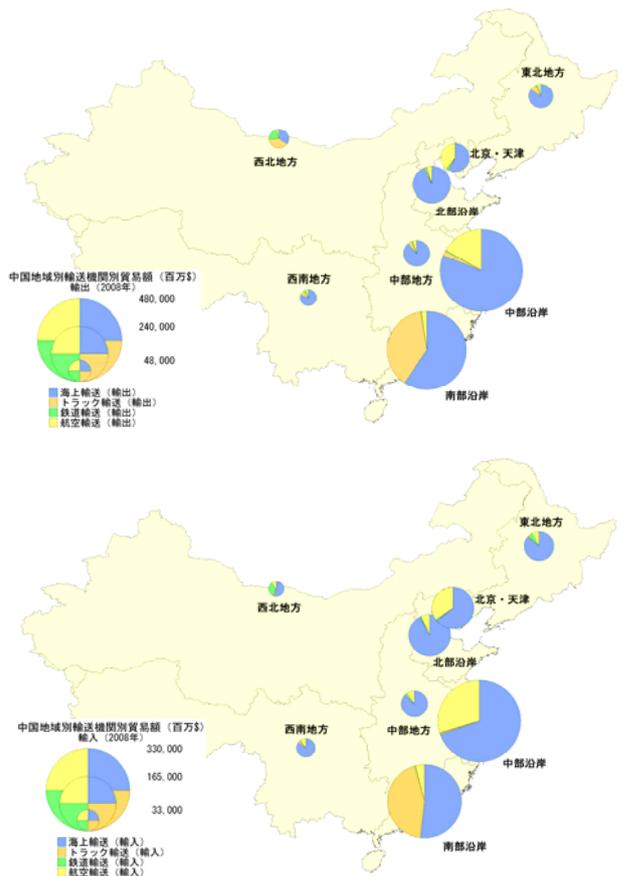


図-3 中国地域別輸送機関別貿易額（2008年）（上図：輸出、下図：輸入）

浦東空港を有する中部沿岸では航空輸送の構成比が高い。西北地方では、輸出入ともにある一定の割合で海上輸送以外による輸送が行われており、輸出ではトラック輸送の構成比が海上輸送の構成比を上回っている。

(3) 中国相手国別貿易額の推移

表-5に中国相手国別（主要貿易相手国上位10国）の貿易金額を示す。輸出入総額で見ると、2003年の最大貿易相手国が日本であったのに対し、2008年ではアメリカへと移行している。また2003年時は貿易相手国順位が12位、20位であったオーストラリア、インドが、2008年では7位、9位と上位10国に移っている。対2003年増加率をみると、輸出ではインド、ロシア、韓国が大きく増加し、輸入ではオーストラリア、インド、韓国が大きく増加している。日本は、貿易相手国としては2位であるものの、

表-5 中国相手国別貿易額

2008年 順位	2003年 順位	貿易相手国	輸出			輸入			
			金額 (百万\$)	構成比	対2003年 増加率	金額 (百万\$)	構成比	対2003年 増加率	
1	↑ 2	アメリカ	295,440	218,458	17%	136%	76,982	8%	127%
2	↓ 1	日本	251,486	109,396	8%	84%	142,090	14%	91%
3	→ 3	香港	184,609	173,165	13%	127%	11,445	1%	3%
4	→ 4	韓国	169,180	67,274	5%	235%	101,906	10%	136%
5	→ 5	台湾	108,524	24,051	2%	167%	84,473	8%	71%
6	→ 6	ドイツ	105,261	50,674	4%	190%	54,587	5%	124%
7	↑ 12	オーストラリア	57,568	20,354	2%	225%	37,214	4%	410%
8	↑ 9	ロシア	50,798	32,526	2%	439%	18,272	2%	88%
9	↑ 20	インド	50,272	30,246	2%	804%	20,026	2%	371%
10	↓ 7	マレーシア	47,723	18,879	1%	207%	28,844	3%	106%

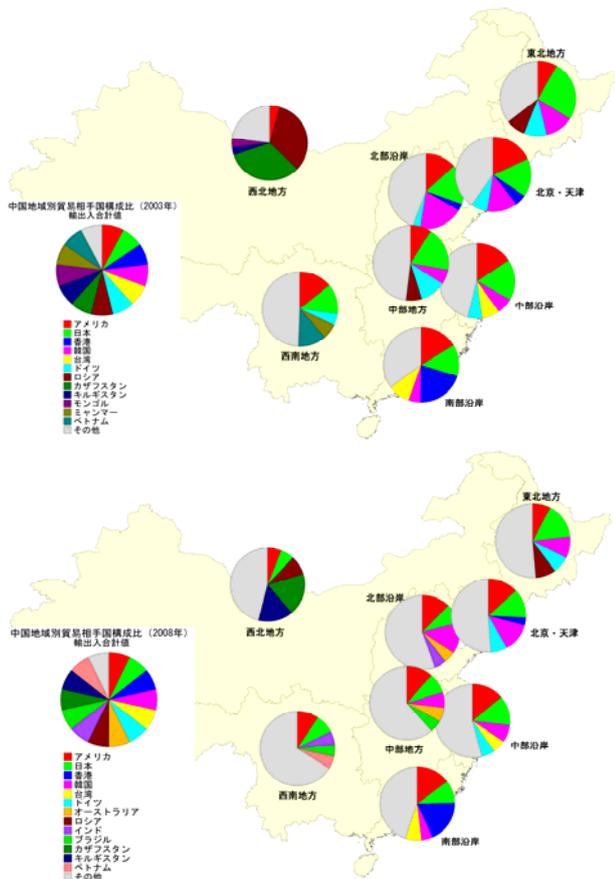


図-4 中国地域別貿易相手国構成比（輸出入計）
（上図：2003年値、下図：2008年値）

対2003年増加率で見ると、輸出、輸入ともに増加率が100%を下回っている。

次に中国地域別の相手国構成比（主要貿易相手国上位5カ国+その他）を図-4に示す。地域別の特徴として、アメリカと日本はいずれの地域においても、ある程度の構成比を占めている。その他の地域については、例えば香港は南部沿岸での構成比が高く、韓国は東北地方や北京・天津、北部沿岸で構成比が高い。西北地方では、主にロシアやモンゴル、カザフスタン、キルギスタンといった中央アジアとの貿易が中心であり、南西地方ではベトナム、ミャンマー、インドなど東南アジアとの貿易がある程度の構成比を占めている。

2003年と2008年の地域別貿易相手国を比較すると、全体的に日本の構成比がやや減少している。一方で2003年時は主要貿易相手国上位5カ国には含まれていなかったが、北部沿岸でオーストラリア、インド、中部地方でオーストラリア、ブラジル、西南地方でインド、ブラジルが主要相手国へと移行している。また、その他の国の構成比も増加している。2003年以降中国は、FTAやEPAといった経済連携に積極的に取組んでおり、その結果、貿易が促進されたとも考えられる。

図-5に2008年の中国地域別相手国別貿易額を示す。上述したように、アメリカと日本はそれぞれの地域である程度の構成比を占めているが、特に輸出でアメリカ、

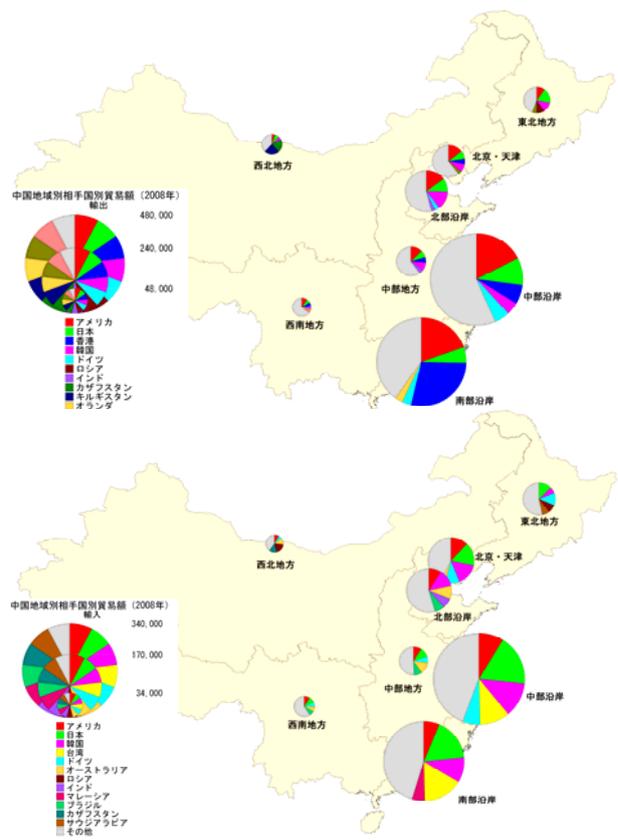


図-5 中国地域別相手国別貿易額（2008年）
（上図：輸出、下図：輸入）

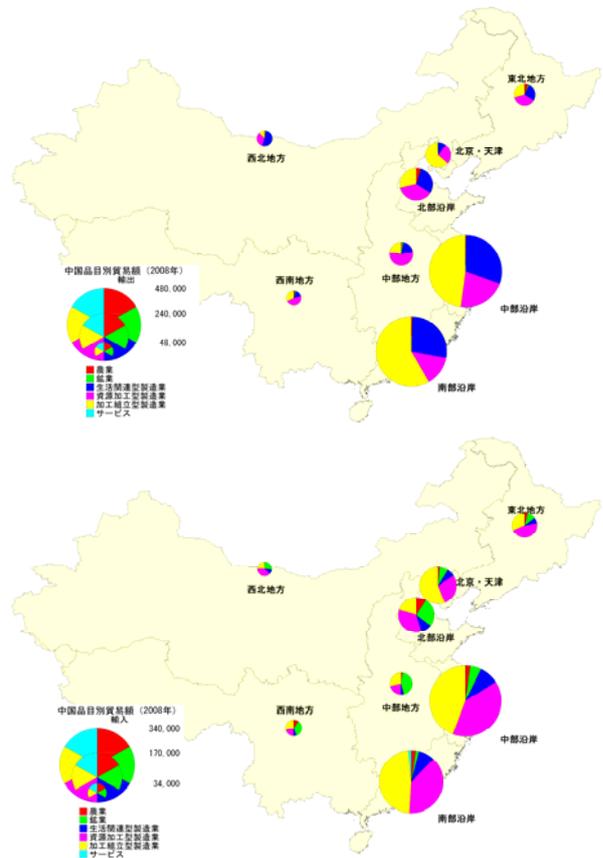
輸入で日本の構成比が高い。また、その他地域の特徴として、輸出では香港、シンガポールといった国際ハブ港湾を有する国が主要相手国向けとなっている。

(4) 中国品目別貿易額の推移

表一6に中国品目別貿易額を示す。図より輸出入総額でみると、中国で最も取扱われている品目は加工組立製造業で全品目の45%を占めている。輸出品目では、加工組立型製造業、生活関連型製造業、資源加工型製造業の取扱が多く、これら3品目で全輸出品目の98%を占めている。一方輸入では加工組立型製造業、資源加工型製造業、鉱業の取扱が多く、これら3品目で全輸入品目の89%を占めている。対2003年貿易増加率をみると、輸出では資源加工型製造業が大きく増加しており、輸入では鉱業が大きく増加している。

図一6に示す地域別の品目別貿易構成比及び貿易額増加率をみると、すべての地域で加工組立型製造業、資源加工型製造業、生活関連型製造業の構成比が高い。2003年の構成比と比較すると、鉱業の構成比が高くなっており、対2003年増加率もその他の品目と比べると高い。

図一7に2008年の中国地域別品目別貿易額を示す。輸出入別に比較すると、輸出品目が加工組立型製造業、資源加工型製造業、生活関連型製造業の3品目で輸出貿易品目のほとんどを占めている。一方で輸入品目は、北部沿岸及び中部地方、西北地方、西南地方と内陸地域において鉱業の構成比が高い。



図一7 中国地域別品目別貿易額 (2008年)
(上図：輸出、下図：輸入)

表一6 中国品目別貿易額

6産業分類	輸出入計 (百万\$)	輸出			輸入		
		金額 (百万\$)	構成比	対2003年 増加率	金額 (百万\$)	構成比	対2003年 増加率
農業	85,606	28,217	1%	82%	57,389	3%	241%
鉱業	194,030	9,439	0%	192%	184,591	10%	991%
生活関連型製造業	868,057	714,144	27%	139%	153,913	8%	68%
資源加工型製造業	1,307,644	621,695	24%	301%	685,950	37%	164%
加工組立型製造業	2,012,104	1,230,255	47%	206%	781,849	42%	78%
サービス	12,282	3,546	0%	82%	8,736	0%	244%

4. おわりに

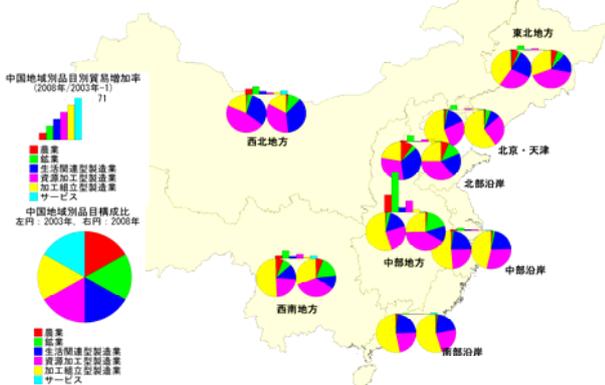
本稿では、中国の地域別貿易額の現状 (2008年) と過去 (2003年) について比較分析を行った。

その結果、すべての地域で貿易額は増加しており、特に沿岸部の貿易額は大きい。しかし増加率で比較すると沿岸部より内陸部の方が増加率は高く、輸送モード、貿易相手国、取扱品目の変化も大きいことから、輸出企業等の進出により、貿易への寄与度が高まってきていると推察される。

また中国政府は2009年以降も13の地域発展計画を承認しており、外需依存体質からの脱却を目指していることから、今後も内陸地域の経済成長は続くと考えられる。

参考文献

- 1) Goodwill China Business Information Limited: China Trade Information Import & Export Database, 2003, 2008
- 2) 柴崎: 中国におけるコンテナターミナル整備と輸送費用削減効果～国際貨物流動モデルの拡張とシミュレーション分析～, 国土技術政策総合研究所研究報告, No. 39, 2009



図一6 中国地域別品目別貿易構成比
及び貿易額増加率 (輸出入計)